



多方面で活躍する子供たち



2学期に入り、頑張っている子供たちを表彰することが増えました。11/7の朝礼では、各学年マラソン大会1位の子供たちを表彰しました。続いて、JA 共済書道コンクールで知事賞の6年中嶋さん、金賞の2年伊藤さん。さらに、県小学生読書感想文コンクール5年生の部で最優秀賞に入った瀬川さんの表彰伝達もしました。新聞に感想文が載っていたのでご覧になった方もいらっしゃると思います。学校では、校内放送で本人に感想文を読んでもらい全校で聞く機会をもちました。

11/7の朝礼後も、次々と嬉しいお知らせが続きましたが、全校が体育館に集まる朝礼はその都度開催できません。校長室で表彰伝達させてもらい、その様子を録画したものをお昼の校内放送で流しています。スポーツでも頑張る姿が見られ、武道(銃剣道)の全国大会団体準優勝の6年内田さん、県道場少年剣道大会団体優勝の6年安達さん、竹内さん、寺前さん。個人3位の6年富田さん。小松市ラグビー祭準優勝の5年下中さん等たくさんの子供たちの表彰伝達をしました。また、今年はふくい理数グランプリ本選理科部門で6年森さん、武田さん、吹矢さんのチームが奨励賞に入りました。3人にインタビューもさせてもらったのですが、奨励賞を取れた要因は、少し違った視点で実験を行ったことや動画を使ってプレゼンしたことだと言うと話してくれました。今年もたくさんの子供たちが理数グランプリに挑戦しましたが、次年度以降も多くの皆さんが挑戦してくれるよう期待します。

先日も校長室で福井ジュニア文学賞優秀賞の表彰伝達をしました。俳句の部で4年岸本さん、エッセーの部で5年夏井さんの二人です。俳句はその場で披露してもらいましたし、エッセーは後日校内放送で本人に発表してもらいました。この日は、禁煙ポスターコンクールで市長賞に入った4年林さんの表彰伝達もあり、次々と頑張る子供たちの姿を見ることができ、大変喜んでいます。賞状を手にするところまで行かなくとも、そこに至るまでに様々な努力を重ねている子供たちもたくさんいます。一人一人がそれぞれの道で頑張れ！ このあとも表彰が続くようですので、次号で紹介します。



子供たちが頑張るので、学校全体に対して学校賞もいただきました。JA 共済書道コンクール学校賞と租税教育推進校感謝状です。作品の応募や授業での取組を評価されたものですが、職員室入り口に賞状と盾・トロフィーがあるのを子供たちも眺めています。

サッカーゴールと書籍の寄贈

12/1 福井新聞の記事です。福井銀行とプレーテ



ィングシズ様のご厚意により、ミニサッカーゴールと保健室で学べる書籍を寄贈していただきました。清水社長、息子さん、お孫さんそれぞれが木田小学校と縁があるということで、木田小の子供たちのために寄贈していただきました。廊下でサッカーゴールを見つけた子供たちは、早速「学校で買ったのですか？」と聞いてきました。寄付してもらったことを説明すると、大変喜び、使える日を楽しみに待っているとのことでした。体や心について学べる保健室用の本も、子供たちが手に取って読みやすいようにマンガなどもあります。お楽しみに。

SDG s 持続可能な社会を創ろう

5年生は総合的な学習の時間にSDG sについて学んでいます。学びを行動に移そうと昨年度から始めた取組の一つが、ユニクロの“届けよう、服のチカラプロジェクト”への参加です。ユニクロ社員からの出前授業を受けた後、子供たちが主体となって着なくなった子供服を校内で回収し、難民などへ届けようという活動です。今年もたくさん集まり、先日ユニクロ倉庫へ発送しました。おもて面のサッカーゴールと書籍の寄贈もSDG s 私募債というSDG sに関する取組の一つです。子供たちの未来につながる持続可能な社会をつくることの大切さを、小学生のうちから学んでほしいものです。



エジプトからの視察

11/16 エジプトからのお客さんを迎えました。エジプトでは日本のODA支援を得て、EJS(エジプト・ジャパン・スクール)という先進的なパイロット校建設が進められています。今回訪日研修しているのは、このパイロット校の校長先生方です。パイロット校では日本の特別活動を中心とした日本型教育(主体的な学び・探求活動等)の導入を目指しており、授業以外にも朝の登校の様子や朝の会、給食や清掃などを熱心に見られていました。



子供たちといっしょに習字や墨絵の体験をしてもらったり、直接交流し相互理解を深めたりと幅広く日本の学校を体験してもらい、大変喜んでもらいました。とても素晴らしい子供たちですねとの言葉を残され研修を終えられました。

PTA 教養委員会 こころの授業



6月にトップアスリート派遣事業で木田小に来てもらったユティツク村田和哉氏を招いて5、6年生がこころの授業を受けました。

村田氏は、小学生でソフトボールを始め、中学時代には軟式野球で日本一に輝き、福井商業では夏の甲子園に2度出場という輝かしい経歴を持っておられます。しかし、甲子園出場という夢を成し遂げたあと、次は何に向かって頑張っていけばよいかわからなくなり、東京でだらだらした大学生活を送っていたそうです。

そんなとき1冊の本「一瞬の風になれ」に出会いました。サッカー少年が挫折し陸上を志す話で、村田氏は読みながら心がワクワク、ドキドキしてきたそうです。そこを転機に陸上に目覚め、日本一になりオリンピックを目指すという目標が出来ました。



陸上では、100m10秒29の福井県記録や日本ランキング7位という成績は残しましたが、日本一とオリンピック出場はかないませんでした。

それでも、夢や目標を見つけ生活が充実した経験をもとに、夢を見つけるには色々なことにチャレンジしてみることが大切であり、見つけた夢をかなえるためには、コツコツと頑張ること、楽しむこと、そしてまわりの人を大切にすることが必要だと子供たちに語りかけてくれました。

村田氏の今の夢は「日本一の走りのスペシャリストになる」ことだそうです。最後に、実技を交えて速く走るコツを教えてもらいました。子供たちの心に残る話だったようで、講演後にたくさんの子供たちからサインをせがまれていました。

教養委員会の皆様も講演後の村田氏と話が尽きませんでした。ありがとうございました。